

事例番号:330243

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第五部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

2) 今回の妊娠経過

妊娠 36 週 3 日 胎児心拍数陣痛図上、基線細変動、一過性頻脈を認める

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 38 週 3 日

8:00 破水のため入院

4) 分娩経過

妊娠 38 週 3 日

8:06- 胎児心拍数陣痛図上、基線細変動消失、一過性頻脈消失、頻脈を認める

9:57 胎児機能不全の診断で帝王切開により児娩出

胎児付属物所見 臍帯巻絡あり(頸部 3 回半)

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:38 週 3 日

(2) 出生時体重:3100g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.34、BE -1.7mmol/L

(4) Apgar スコア:生後 1 分 2 点、生後 5 分 6 点

(5) 新生児蘇生:人工呼吸(バック・マスク、口対口鼻)、胸骨圧迫

(6) 診断等:

出生当日 新生児仮死

(7) 頭部画像所見:

生後 7 日 頭部 MRI で大脳基底核・視床に信号異常を認め、低酸素性虚血性
脳症の所見

6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 2 名

看護スタッフ:助産師 3 名

2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、入院前の妊娠 36 週 3 日以降、入院となる妊娠 38 週 3 日までの間に生じた一時的な胎児の脳の低酸素や虚血による中枢神経障害であると考ええる。

(2) 一時的な胎児の脳の低酸素や虚血の原因を解明することは困難であるが、臍帯血流障害の可能性を否定できない。

3. 臨床経過に関する医学的評価 (2020 年 4 月改定の表現を使用)

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

(1) 妊娠 38 週 3 日、破水感を主訴に来院した妊産婦への対応(入院管理、分娩監視装置装着、バイタルサインの測定)は一般的である。

(2) 入院後、胎児心拍数陣痛図上、基線細変動なし、一過性頻脈なしと判読し、胎児機能不全の診断で帝王切開を決定したことは一般的である。

(3) 帝王切開決定から(「事例の経過」についての確認書による)1 時間 2 分後に児を娩出したことは選択肢のひとつである。

(4) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。

(5) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

3) 新生児経過

- (1) 新生児蘇生(バッグ・マスク、胸骨圧迫、酸素投与)は児の状態や蘇生処置に関する記載が少ないため評価できない。
- (2) 新生児仮死で出生後、痙攣および低血糖が認められたため高次医療機関 NICU へ搬送したことは一般的である。

4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

- (1) 観察した事項および実施した処置等に関しては、診療録に正確に記載することが望まれる。

【解説】本事例は新生児蘇生について(人工呼吸についての医師の判断、バッグ・マスクおよび胸骨圧迫の終了時刻等)の記載がなかった。観察事項や児に対して行われた処置は詳細を記載することが必要である。

- (2) 新生児蘇生については、分娩に立ち会うすべてのスタッフが「日本版救急蘇生ガイドライン 2020 に基づく新生児蘇生法テキスト」に則した適切な処置が実施できるよう習熟することが望まれる。

【解説】本事例では、出生後 2 分 30 秒頃の時点で「マウス・トゥ・マウス」が施行されている。「日本版救急蘇生ガイドライン 2010 に基づく新生児蘇生法テキスト」には口対口鼻人工呼吸法は分娩が車中や一般家庭などの設備のないところで行われた場合の蘇生に行うとされている。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

- (1) 帝王切開を決定したらできるだけ速やかに施行できる体制をつくることが望まれる。
- (2) 本事例では事例検討が行われているが、その検討内容については病棟助産師・看護師の観点のみであるため、医師の観点からの事例検討を行うことが望まれる。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

陣痛開始前に発症した異常が中枢神経障害を引き起こしたと推測される事例を集積し、原因や発症機序についての研究を推進することが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

陣痛開始前に発症した異常が中枢神経障害を引き起こしたと推測される事例の発症機序解明に関する研究の推進および研究体制の確立に向けて、学会・職能団体への支援が望まれる。